

[公演ノート]

小学校音楽鑑賞会の実践的アプローチ

—聴いて、歌って、感じて、楽しんで—

The Practical Approach to Musical Appreciation at Elementary Schools

—Listening, Singing, Feeling and Enjoying—

小佐野 圭

Kei Osano

〈抄 録〉

本稿は2014年10月3日に川崎市立M小学校（全校生徒数1140名）からの依頼により開催された「〈デュオおさの〉ピアノ1台4手の連弾と2台ピアノの演奏による音楽鑑賞会」の報告である。

鑑賞会のテーマを「聴いて、歌って、感じて、楽しんで」とし、演奏を聴くこと（聴覚）だけでなく、児童生徒の視覚や体感も意識したプログラム構成とした。連弾と2台ピアノのレパートリーから様々な国の作曲家と特徴的なリズムや緩急の作品を選び、児童生徒の歌と2台ピアノの共演も行った。

今後、音楽鑑賞会を企画する指導者、またゲストティーチャーとして招かれた場合の指導の指針となれば幸いである。

キーワード：2台ピアノ、デュオ、音楽鑑賞活動、学習指導要領、指導計画

Abstract

This is a report on the performance of the Duo Osano, (Mr. & Mrs. Osano) held on October 3, 2014, at “M” Elementary School (1,140 students) in Kawasaki city. The theme of our performance was “Listening, Singing, Feeling and Enjoying”, and we arranged our programs so that the students would not only listen to music, but visualize and feel it. Among the piano pieces for four-hands and two of pianos, we chose some pieces with characteristic rhythms from composers all over the world. We performed them, and the students sang two Japanese pieces with our two pianos.

I hope this will be a guideline for leaders, teachers or instructors planning concerts.

Keywords: Two Pianos, Duo, Musical Appreciation, Curriculum Guidelines, Instructional Planning

1. はじめに

川崎市立M小学校から、音楽鑑賞教室の公演として依頼を受け今回の音楽鑑賞会が行なわれた。全校生徒数1140名という大規模校であるため、体育館で、低学年（1、2年生）、中学年（3、4年生）高学年（5、6年生）の3グループに分け、それぞれ350～400名を対象に3回公演をした。

2. 音楽鑑賞会の目的

小学校学習指導要領「第2章第6節音楽」第3項2-(1)には、各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては「音楽との一体感を味わい想像力を働かせて音楽とかかわることができるよう(略)」¹⁾と記されている。授業内でCDなどのメディアから鑑賞するだけでなく、生演奏にふれる機会をつくることは、聴覚、視覚、体感により、より印象深く心に残り感性が育てられ、一層の情操教育となり得る。

3. 演奏会概要

3.1 音楽鑑賞形態について

通常は体育館のステージ下に置かれた平台の上にグランドピアノが設置されているが、児童生徒達に、よりダイナミックに音が伝わる（聴覚だけでなく、振動が伝わることにより体感出来る）ように体育館の床の上に降ろし、さらにもう1台のグランドピアノを楽器店から搬入し、2台のピアノを向かい合わせにセッティングした（写真1）。生徒達はピアノが置かれている床の上に2台のピアノを半円状に囲むように座って鑑賞した。2台ピアノの演奏時には比較的多くの児童生徒に演奏される鍵盤上の指の動きや身体の動きが見えるが、連弾（1台4手）の時には使われていないピアノ側に座っている児童生徒に演奏者の様子が伝わりにくいので、ビデオカメラを設置し、ステージ上のスクリーンにプロジェクターを通して投影した（写真2）。



写真1



写真2

また、演奏曲目については曲名と作曲者名、国名をスクリーンに表示した。

3.2 プログラミングについて

3.2.1 演奏曲目

《様々な国の曲からリズムやイメージを感じて楽しもう》

1. 「となりのトトロ」より“さんぽ”（低学年） 久石 譲 日本
「愛の挨拶」（中学年、高学年） エルガー イギリス
2. 「剣の舞」 ハチャトゥリアン ロシア
3. 「ハンガリー舞曲第1番、第5番」 ブラームス ドイツ
4. 「シテール島への船出」 プーランク フランス
5. 「4つの小品組曲」より“フィナーレ（ロック）” ベネット イギリス
6. 「ラプソディ・イン・ブルー」 ガーシュウィン アメリカ
《2台ピアノと一緒に歌おう》
7. 「紅葉」 三善晃編曲「唱歌の四季」より
8. 「宮崎小学校校歌」（伴奏編曲及び二部合唱パート作成 小佐野実穂）

3.2.2 プログラムのより具体的な内容について

1、2年生対象のプログラムでは、聞き馴染みのある曲目でスタートすること（「となりのトトロ」より“さんぽ”）により音楽鑑賞に興味を持たせたいとの思いから選曲した。1、2年生の感想文では、「ワクワクする」「なつかしかった」「からだがうごいた」などの言葉があった。連弾の「剣の舞」は激しいリズムとテンポの速さが印象的で、演奏の様子も視覚的にインパクトを与えられる。この曲は低学年から高学年に渡って人気の高かった1曲である。高学年では音楽の授業内で鑑賞曲として聴いていたこともあり興味深く鑑賞したようだが、やはり生演奏の迫力ある音量と息づかい、音の振動が伝わったようで、感想も多かった。

「音楽室のCDで聴くより迫力があっていいなと思いました」（4年女子）

「しん動も伝わって勝手に体が動いてしまいそうになりました」（5年女子）

小学校学習指導要領に基づき、「様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞能力を育て、伸ばし、高められるよう、音楽を味わって聴くようにする」²⁾ことから、今回のプログラムでとりあげた作曲者の国は、上記の通り日本、ロシア、ドイツ、フランス、アメリカ、イギリスの6ヶ国である。ワルツ、ジャズ、舞曲など、拍子や曲の特徴的なリズム、緩急を取り混ぜて選曲した。

ワルツの3拍子は生徒の手を取り実際にステップをふみ体感させ、ジャズの要素のひとつ、裏拍の意識は生徒全員で手をたたき、リズムに乗る感覚を体感させた（写真3）。



写真3

また、演奏者自身が演奏する曲目の特徴や聴きどころを説明する事は重要だが、今回のように、スクリーンに曲名や作曲者名、国名を表示しておくことにより一定の時間視覚的に捉え、より記憶にとどめられることが出来たように思われた。

ピアノの楽器としての基本的な説明も生徒達には興味深かったようで、「ピアノを“台”と数えることがわかった」や、「鍵盤の数が88鍵であることがわかって良かった」などの感想もあった。

1台4手連弾と2台ピアノの音の響きを比較出来たことも印象に残っている児童生徒が多かった。

また、小学校4年生の歌唱共通教材である文部省唱歌「もみじ」（高野辰之作詞／岡野貞一作曲）を、三善晃編曲「2台ピアノのための唱歌の四季」より「紅葉（もみじ）」に合わせて一緒に歌う共演ステー

ジでは、多くの児童生徒達が「2台のピアノと一緒に歌うのは楽しかった」との感想を寄せている。

ただ楽しいだけでなく、この編曲においては、1番から2番へ移る際に2台ピアノの間奏があり、転調もしているため、M小学校の先生方に協力を仰ぎ、指揮をしてもらったり、同校のY.Y氏が作成した指示ボードに基づき間奏の拍子を数えながらピアノの音に耳を澄ますという体験もあった。

2台ピアノと共に歌うもう1曲は、1873（明治6）年創立の由緒ある小学校の校歌である。歌詞が子ども達にとっては難しいもので、なかなか歌いなじめないとの話をきいていたので、伴奏を編曲し、2部合唱パートも作曲し、今回初披露となった。児童生徒達にも聴き分ける力があり、「伴奏がいつもとちがっていて歌いやすかった」(3年)、「今までとは違う伴奏に感動した」(6年)などの感想があった。

まとめ

小学校の音楽鑑賞会では聴く力を身につけて、もらえるように演奏者や教員が曲目の説明をすることは大切だが、音楽に対する興味を高めるためには、鑑賞曲のプログラミングと、見せ方、聴かせ方も重要である。様々な音楽によってリズムや表現を感じとる力を伸ばし、知的理解を伴った楽曲の鑑賞によりまた様々な方向で興味がわいてくることにつながっていく。

ピアノという楽器は他の楽器に比べて学校の音楽室や体育館の行事の際に使われることから、身近な楽器となった現在だが、音楽鑑賞会の中で聴くことにより一層の親しみをもって接する機会が増えることになるだろう。生演奏の感動は子どもたちの心に留まり、聴く楽しみを深めることになろう。



写真4

謝辞

最後にM小学校鑑賞教室開催にあたり多大な支援を下さったY.Y氏、Y.S校長には心より感謝申し上げます。また、音楽鑑賞会の感想文をまとめて下さったM小学校の各学年担任の皆様にも御礼を申し上げます（写真4）。

注

- 1) 文部科学省ホームページ 〈http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/syo/on.htm〉
2014年12月1日現在
- 2) 文部科学省ホームページ 〈http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/syo/on.htm〉
2014年12月1日現在 小学校新学習指導要領「第2章第6節音楽」より

参考文献

- 『最新 初等科音楽教育法 [改訂版] 初等科音楽教育研究会編』音楽之友社、2012年
『小学校学習指導要領解説音楽編』平成20年版、文部科学省、2008年